

Pola-R-CHP療法（1泊2日）を受ける患者さんへ

ID:

患者氏名:

様

傷病名:

【患者さん用クリニカルパス】

日付	月 日（ ）	月 日（ ）
経過	リツキサン投与当日	化学療法後、退院
	1病日	2病日
治療スケジュール	リツキサンを投与します。 アレルギー出現予防のための前投薬を投与します。 リツキサンは入院後準備ができ次第投与を開始し、問題なければ16時頃投与が終了します。	化学療法のポライビー、ドキソルビシン、エンドキサンを投与します。 副作用予防のため制吐剤とステロイド薬を投与します。 本日から5日間プレドニンを内服します。 副作用症状がなければ退院となります。
目標	予定どおり治療が終了する。	
検温	入院後、検温、レントゲン、心電図検査があります。 リツキサン投与中は30分～1時間毎に検温します。	1日2回検温を行います。
処置・測定	リツキサン投与開始から終了から2時間は心電図モニターを装着し、波形の観察を行います。	適宜検温し、バイタルサインの変動に注意しながら治療を進めていきます。 退院が決まったら点滴ルートを抜去します。
説明・指導	Pola-R-CHP療法の副作用症状について説明します。	
食事	化学療法中、食欲がない時は食事内容は変更できるので希望があれば看護師に伝えてください。 お薬がのみづらいときは変わりの注射や点滴をします。	
生活・行動	歩行は自由です 毎日シャワー浴を行いましょう。お体が辛いときは体拭きを行います。 感染予防のため手洗い・含嗽をしっかり行いましょう。	
その他	【抗癌剤の副作用症状について】 ・リツキサン アレルギー症状が出現しやすいです。投与開始～24時間以内に出現します。 発熱・悪寒・悪心・発疹・血圧低下・呼吸困難・咳嗽など →抗アレルギー薬、ステロイド剤を投与します。 ・ポライビー アレルギー症状が出現しやすいです。投与開始～24時間以内に出現します。 発熱・悪寒・悪心・発疹・血圧低下・呼吸困難・咳嗽など →抗アレルギー薬、ステロイド剤を投与します。 ・エンドキサン 出血性膀胱炎 →尿量確保のため、生理食塩水を点滴します。 ・ドキソルビシン 心不全 →動悸、胸痛、呼吸困難注意して観察し必要時心電図モニタリングを行います。 ・プレドニゾン(ステロイド剤) →高血糖、不眠 →血糖が高い場合にはインスリンを投与します。不眠時は眠剤を使用します。 【その他副作用症状】 ・悪心・嘔吐 →制吐剤の投与、食事内容の変更、必要時栄養の点滴を行います。 ・口内炎 →うがい、歯磨きの指導を行います。必要時はうがいの水を変更します。 ・血球減少 白血球が低下すると、病原菌に対する抵抗力が低下し感染症を起こしやすくなります。 →白血球回復のため、ノイトロジンというお薬を注射します。感染予防について指導します。 また予防のため抗生剤の投与を検討します。 →必要に応じて輸血を投与します。 ・脱毛 治療開始から2～3週間で抜け始めます。 →長い髪はあらかじめカットしておくのもよいでしょう。帽子をお渡しします。 治療が終われば1～2ヶ月で再発毛が始まります。	

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。